

## 略 歴

- 1923 エーヤーワディー管区パテイン市に生まれる  
1950 ヤンゴン大学文学修士（歴史）  
1952-56 ロンドン大学アジア・アフリカ研究学院学術博士（中世ミャンマー史）  
1958 ヤンゴン大学歴史・政治学部講師  
1959-61 『バーマ・リサーチ・ソサエティ（ミャンマー研究協会）ジャーナル』編集員  
1960-62 『バーマ・ヒストリカル・コミッション（ミャンマー歴史委員会）紀要』編集員  
1960 大学委員会よりミャンマー・極東史学部のミャンマー史助教授に任命  
1965-83 マンダレー大学歴史学部教授  
1982 京都大学東南アジア研究センター客員研究員  
1983 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所客員研究員  
1984 東京外国語大学インドシナ語学科客員教授  
1987 国際基督教大学客員教授  
北イリノイ大学東南アジア研究センター客員教授  
ミシガン大学歴史学部客員教授  
1988 ロンドン大学文学博士  
1991 ミャンマー教育省歴史委員会委員  
1993 ヤンゴン大学考古学部名誉教授  
1996 ヤンゴン大学歴史学部名誉教授

## 主な著書

- 『ミャンマー仏教史：1000-1300』ヤンゴン国民文学館，1962  
ခေတ်ဟောင်းမြန်မာရာဇဝင် 『古ミャンマー史』マハーダゴン・サーペー出版，1964  
နယ်လှည့်ရာဇဝင် 『足で歩くミャンマー史』（第1-3巻）ナンダタイツ出版，1968-69  
အသစ်မြင် ဗမာ့သမိုင်း 『ミャンマー史再考』ミヤカンダ・サーペー出版，1975  
『ミャンマー王の布告：1598-1885』（第1-10巻），京都大学東南アジア研究センター，京都，1983-90  
『第2千年期の西洋・ミャンマー対照暦：17世紀』ヤンゴン大学歴史学部，1997

## 主な論文

- 「ミャンマー史：1300-1400」（『ミャンマー研究協会ジャーナル』第42号（2），1959，pp.119~134）  
「ミャンマー史：1000-1300」（『ミャンマー歴史委員会紀要』第1号（1），1960，pp.39~57）  
「バガン遺跡の復興」（『ミャンマー研究協会ジャーナル』第59号（1 & 2），1976，pp.49~96）  
「ミャンマーにおけるシュエジン派仏教僧団の歴史」（『史録』第14-18号，鹿児島大学，鹿児島，1981-85）  
「ミャンマー史—人文科学的アプローチ」（『アジア研究動向：人文・社会科学レビュー』 No. 4，ユネスコ東アジア文化研究センター，東京，1994，pp.55~70）

※1989年6月以降、ミャンマーでは対外的な呼称を現地語に統一。上記国名・地名は、原則として、1989年6月以降の呼称を使用。

※出版地のないものは、すべてヤンゴンで出版。